

紙幣頭年報
合衆國
全二冊
下



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

水鏡

圖

已錄課

114
A1398
2



千八百七十三年ノ恐慌

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

ウエーヤハウスセキエーライコムパニ一及其
他海外貿易ノ為ニトテ企テタルニ大家ノ破産
セルニ因リ其九月八日ニ始メテ其兆效ヲ登セ
リ其十三日ニ至リテ株式中買ノ大會社中ニ
從テ破産セリ其十八日ニ至ツテ我國ニ著名ナ
ル鐵道社中ノニ大家ノ破産之ニ次ク其二十日
ニ至リテエニラントラストコムパニ一ナシヨ
ナルトラスコムパニ一ナシヨナルバンクヲフ

大藏省

セコムモンウエハス及ヒ其他有名ナル銀行三
座ノ破産之ニ次ク此日ハニウヨルクストツク
エキステエシダノ関店日ナリシカ即チ閉鎖シ
テ其後チ十日ニ至ルマテ更ニ関クアアルナシ
此時銀行紙幣ヲ以テ紙幣ト交換スルニ一分ノ
四分一乃至三分ノ切り賃ヲ取りシトナリ故ニ
附托品ノ取戻シヲ請フ者十八日ニ至リテ翌
ク起リ十九日及ヒ二十日ニ至リテ村落ノ組合
ヲ許多ノ手形ヲ振出シテ以前ニテハ容易ニ
受取ラサリシ者ニテモ差シ構ヒナク受テ取ル

4

ト申シ越シタリ此ニ於テ銀行ノ準備大ニ
減省ス

六萬弗餘ニ總計セル應需貸金ハ素ト斯ノ如キ
事件出テ来ラントキノ為ニトテ備タル者ニ
銀行ノ望ミヲ懸ケシ者ナリシカ此時ニ及ヒ
借リ方ノ家産ハ多クハ此金高ノ書入レト成リ
テ既ニ銀行ニ典ゼリ此品物ヲ賣リ拂フトモ其
價ト大ニ下落セシカハ別ニ金ヲ得ルノ手段ヲ
得ス衰廢ノ兆目前ニ見ルベシ蓋シ此尚商買ナ
キニ非スト莫モ其仕拂ヲ為スヤ必ス他ノ銀行

ト手形ヲ振出スノミ毫モ金高ヲ増ス能ハサル
ナリ斯ニ於テ交換中間ノ集會ニ於テ詳議シ上
ニテ何トシ其改復ヲ計ラントテ九月二十日土
曜日ノ夕刺諸會社ノ差引勘定左ノ如ク取極メ
タリ

商業ノ融通ヲ便ニシ且ツ銀行ノ差引取
極メテ行ハンガ為ニ宜シク交換所中間
諸銀行ヲシテ五人ノ管理役ヲ命セシメ之
ニ請取手形及ヒ彼レガ承諾セル諸証文ヲ
附托スベシ管理役此附托ヲ受ケ為ニ七分

ノ利アル借用証文ヲ發行スルノ權アリ尤
モ其借用証文ノ高ハ附托セル受取手形
及ヒ諸証文ノ七割五分ノ上ニ出シヘカ
ス

附托セル諸証文ノ内合衆國公債証書及
合衆國借用証文ニ非サルモノハ其價丈
ノ借用証文ヲ發行スルヲ得ベシ
此借用証文ハ來ル十二月一日マテノ間交
換所ニ於テ差引取極メノ為ニ用ユル者
ナレハ此時限中八日々貸シ方銀行ニ於テ

恰好ノ相庭ヲ以テ受納セザルニカテハ
此証文ノ利ハ来ル十一月一日以内証文皆
消時ニ及ビテ之ヲ所持セル銀行ニ割リ
渡スベシ

此管理役ノ預カレル諸証文ハ特別ノ附托
品トシテ借用証文返荷ノ為メニ備ヘシ
ベシ

管理役ハ銀行ヨリノ所望ニ因テ或ハ所
持ノ典物ト他ノ典物トヲ相引換ユルヲ
得ベシ又メ次第二因リテハ用心ノ為メニ

ト物ノ増加ヲ請フノ權アリ

管理役人發行スル所ノ借用証文ハ一千ト
ル餘ニ出ツベカラス

但シ此法則ヲ施ス者ハ全ク交換所ニ申
ノ有無ヲ通セン為メニシテ其口金
社中承知ノ工工即チ此法制ヲ
中ニ施行スベシ

諸銀行毎朝第十時其所時ナル借用証文
高ヲ以テ交換所ノ支配人ニ報スベ
此法制ニ因テ企望セル目途ヲ為シ果サン

為ニ其社計所持セル紙幣ハ彼是ノ志授
 供センカ為ニ暫ク一同ノ本金ト成
 ベシ勿論管理役人ハ指今ノ出シ是ラ一
 ニスルノ權ナカルベカラス
 是レカ為ニ毎朝商業ヲ取り始メ
 銀行ヨリ其景況ヲ報告スベシ其款條一ノ
 如シ

- 第一 貸附ヶ高及ニ割引ノ高
- 第二 貸附ヶタル借用証文ノ高
- 第三 附ヒセル合衆國借用証文及ニ紙

幣高

第四 附托品ノ高但シ通至ノ高ヲ合
算セザル者ナリ
 通幣仕拂ノ日廷始メテ起ルヤ唯々ニシヨル
 月ノミニ其災ヲ蒙レシ而シテ次第ニ各地ニ流
 及シタルナリ蓋シニウヨル府ニ於テ他
 會ニ仕拂ハサレハ其都會ニ於テモ示
 望ニニ志スル能ハスニウヨル府ニ於テ
 換ハ當ニ餘利ヲ得タリシ者ナリシガ今ハ如
 割引ヲ為スニ至レリサレハ大ニ不利益
 都會銀行モ亦クハ皆テ仕拂ハサレ申立

リ具間約四十日ニシテ十二月一
ニウヨルリ銀行ノ再興ニ因テ債
医セリ云フ

サレハ大蔵省ノ欠扼出テ来ラント為
聞シタリト虽モ差シ当テノ實效ハ
出テタリ國中大ニ富饒之景況ヲ含メリ秋
ノ外登リ倉稟陳々滿テ累ラ成ス製造鑛山ノ利
ホタ至リテ大ナリサレハ將ニ隆ナシスル高
法ハニ挽回シテ却テ先年ノ繁昌ニ勝ラント見
以タル者アリ千七百七十二年穀類馬鈴薯烟草

粘草ノ價ト耕

ハニ於テ

計算スルニ

億二千四百三十八万五千四百ナリトゾ今年ノ粘
産物ノ價トモ實ニ昨年ノ計算ニ勝サルトモ成
タルトナカルベシトノ事ナリ千八百六十九年
ノ統計表ニ其年ノ産出物ノ價ト四十億二千六
百萬トルト算ス之ヲ千八百七十三年
増加セシモノ十七億八千八百萬ト

云フ

夫之に拂日矣ノ依テ起レル所以ヲ
ノ職トス、キ所ニ非ザルナ

言カサニニ 輸入輸出製造

ノ公積ノ証據ノ數年間ノ比較ヲ取

カニ之ヲ要スルニ國ノ經濟ノ通覽ヲ

ナリ然レ其ノ手近キ元因ハ他ナシ

常ノ為ニ五年間ニ費ヤス處ノ金高十

則チ年々三億四千萬トル程ニ及

ノ借債重ナリタレハナリ此際州府都會ノ

會社及ヒ鑛山會社ノ如キハ所有品ヲ

探出スル借債ヲ賣買シテ此諸証紙大ニ外國

交易ニ流出セリ此レ其況ニハ其發行

大ニ倍シ其高大ニ増加セリ

レニ至リテ鐵道及ヒ其他ノ証紙ハ皆ナ

内ノ市場ニ注入シ逐々通用セサルニ

ニ三ウヨル府ノ銀行此負債ヲ以テ充

レ其貸シ方ノ需メニ充スル能ハス同

所持スル者皆ナ一驚ヲ喫セリ而シテ

ニ周子シト云フ當今大藏省ノ欠乏

大ニニウヨル府銀行ト株式市場

作ニ出ツル者ナリ其ノ兵革ノ鎮

取手形ノ四分一餘殆ント

株式中間
志需貸シ法ヲス
タリ之レ全國ノ商業ヲ便ニセテ却テ之ヲ
ルノ弊ヲ醸セリ其内乱以前ハ株式
二百五十人ノミニシテ其職ハ則チ牙利
ナリ其相ヒ約束スル確定ノ法アリ其
ナシ其季年ニ至リテ其社中増シテ千百
諸方ノ人之ニ與ミシホールストリトニ會
シテホレリス羅馬ノ活登ナル題言ヲ以テ其
業ノ規則トセリ其記ニ曰ク金ヲ得ヨ宜シク符
號ニシテ得ヨ萬十金ヲ得ル

クヨー州ノ法ニ株式
八百五十八年ニ至リ不幸ニシテ其
間ヲシテ放意ニ其職ヲ増加セシム
株券市場ノ相場ハ間々方便ノ道具ト成ルベシ
而シテ大ニ一國ノ商業ヲ支配スル勢アリ其
成遠ク外國ニ波及シテ此國信ヲ損スル以テ
ラス鉄道及ヒ其他ノ會社ノ負債遠ク
他都會ニ至リ相庭ヲ動揺セシム
ノ價ニ下レリ
合衆國ノ議院ニノモ若クハニウヨ

法定ラモ右ノキ限制ヲ施シテ正格
贏利ヲ増サンテ之レ亦タ注意ニサレハ
新ク改正ヲ請フモノハ長ク抗難ノ如
クス再ヒ其起ラザランコトヲ望ムナリ大都
銀行社中相和シテノ約束ハ議院ノ法令ニ
ベシ蓋シ會社勉強シテ正直ヲ守ラシム
而シテ法令始メテ行バルコトナリ嗚呼世間如此
キ人ホタ少ナイカナ
然レモ銀行相と和シテ事ヲ行フヲ欲セサル
ハ議院ノ法令宜クニウヨルコト府外ノ

シラタ分ノ本金ニ他ニ許ス
第ハ表ハ去ル四ケ年十月ニ當リニウヨルク府
諸銀行商業ノ景況ト本年九月ノ景況ト割合ヲ
示スモノナリ
第九表ハニウイングラント中部西部及西
部ノ諸銀行ノ報告ヨリ抜輯セル者ナリ
夫ノ恐慌ノ時及ヒ其登起ノ始ニ當テ銀行
況如何ヲ知ランガ為ニ即チ十月十三
二月一日ノ報知ヲ申シ付セタリ蓋シ前者ハ
幣ノ元モ必キ時ナリ後者ハ銀行再ヒ紙
仕

ヒヲ始メシ日ナリ各州各府ノ明細報知
ニ之ヲ記ス且ツ千八百七十三年九月二十
日
出テ貸シ付ケ高流通高附托品金貨幣
計及ヒ十二月二十二日交換所ニ報知セル
ノ細詳ヲ附ス

第十表ハ即チ是ヨリ抜輯スル所ナリ
一 二ノ報知其期限ヲ誤リ速ニ致サ、ルヲ
以テ僕只得粗淺ノ表ヲ示シ聊カ参考ニ供
ス

附托品 利息

先年ノ手表ニ於テ僕聊カ附托品ニ利息ヲ
害ヲ速ヘダリ前紙幣頭亦々此事ニ関シテ細ニ
論説スル所ナリ但ニ此ヲ行フニ於テ難事ナキ
能ハス懐フニ議院ノ法令ハ獨リ國立銀行ノミ
ニ行ハレテ州縣銀行ニ行ハレサルカ州縣ノ特
許ヲ以テ營業セル州縣銀行蓄金銀行ヲシテ附
托ノ安全ナルヲニ於テ國立銀行ト相競フノ念
アラシメン國立銀行ハ其營業ノ永久セント
欲スベシ州縣銀行ハ懸然トシテ法ヲ守ラニ必
ス國內ノ聚金株式ノ賣買ヲ世話算ナシテ取

且ツ紙幣ヲモ少カノ割引ニテ引換ニ採申
出スベシニウヨルク府交換所ニ於テ建言ヨル
支實合衆國ノ諸都市ニ行レタレンニ議院ノ
法令ニ倍スル幾倍ナルヲ知ラサルナリ僕思フ
ニ各都市ノ習俗實ニ銀行商業ヲ敗フルノ尤ナ
ルモノト稱スベキカ州縣銀行私營銀行及ニ蓄
金銀行ノ諸會社各所ニ於テ附托品ニ高利ヲ拂
ヘリ其利タルヤ正經ノ商業ヲ以テ得テ却テベ
カラサシ者ナリ故ニ國立銀行其職ヲ當セント
欲セ、同様ノ利又與エサルベカラシ共於テ

則合登貴シテ然ニ不慥カナル莫シク
起リテ株主附托人ハ兩者ヲシテ損失セシムル
ニ至ラン故ニ最モ要用ナル法令ハ通幣條例ニ
因モ出タ否サルモ都テノ銀行ニ行ハルベキ者
ナリ國立銀行ノミ附托品ノ利ヲ拂フヲ禁シタ
ル法令ハ必ス實行スヘカラス必ス州縣ニ於テ
モ同シ法令ヲ公布センコトヲ望ムナリ然レモ僕
唯恐ラクハ其裁用セラレザレンコト夫共凡ノ際
公布セラレシ所ノ通幣條例ニ付托品ニ於テ一
分ノ二分一千分ノノ歳入税ヲ課ス其後租稅率

令ニ於テ州縣銀行私營銀行ニ於テモ之ヲ上ホ
スベキトテ公布セラレタリ故ニ若シ附托品ニ
利ヲ拂フヲ禁セバ必ス此税ヲ廢サシムヘカ
ス若シ亦タ利ヲ受取ントテ銀行ニ附托セル者
アラハ一様ニ此ニ税ヲ課シテ其製ヲ制シテ可
ク信々大ニ利ノ割合ヲ下落シ且ツ畜金銀行ノ
如キ不正ノ貸シ付モ亦タ已ムベキトテ抑々畜
金銀行ノ結構タル唯カ人民ノ畜金ヲ預リ之ヲ
安全ニ保護シ其費用ヲ差シ引キタ後ノ殘金

ヲ以テ付托者ニ附與シテ可ナルベキナリ

銀行切手ノ請合

千八百六十九年三月三日ノ條例ノ趣キ
引受人一人ヲ命スベキトテ定ム其文ニ商人若リ
ハ會社ヨリ國立銀行ニ當テ、切手ヲ振出シ千
圓銀行ニ預リ置ケル金額ヲ以テ之ヲ償フ能ハ
サルニ當テ是ヲ差シ許シ金子ヲ送ルニ於テハ
引受人ヲ命スベキ權アルベシ
往年間ニウヨルク府ノ子シヨナルバンクコ
ゼコンモンタルス及ヒニウヨルリヤンス

シヨナルバンキングアスシユーションノ為ト
ニ此律令違背ニ付跡引受人ヲ命ヨリ向後如此
違背アルハホタ此法ヲ固守セント欲スルナ
リ

銀行紙幣ノ利益附上納利得及ヒ分配
或ル説ニ曰ク國立銀行ハ他ノ元金ヨリモ多量
ノ運上ヲ課シ得ベシ彼レ通幣ノ發行ニ因テ多
分ノ利ヲ占ムルナリ出納寮ニ附托セルハ債
証券ノ外更ニ通幣ヲ用ユルニ付テ五六分ノ利
ハマレベシト謂リ衆人多クハ執テ然ト為ス

是レ誤ノ大ナル者ナリ蓋シ國立銀行ハ常ニ一
億餘ノ準備金ヲ紙幣ヲ以テ效メ置ケリ此レ利
ナクシテ政府ニ貸シ附ケタルカ如シ又々四千
二百四十七萬一千円ノ公債証券ヲ出納寮ニ致
メサルベカラス是レ通幣ノ抵当ニシテ打歩ヲ
拂ヒテ買ハサルベカラス且其利ハ所持主ニ與
ラベキ者ニテ敢テ擅ニスベカラザル所ナリ加
之銀行ニ附托セル六分公債証券ハ數ニ政府ノ
為メニ強コラレ五分ノ公債証券ト引換テハタ
リ

千八百七十年七月十二日ノ布達ニ因テ營造セ
 ラルベキ國立銀行ハ通幣ノ分配高丈ケテ所持
 セサル州縣ニ於テ營業スベキモノナリ其往時五
 分公債証書ハ一割五分ノ打テ歩ニテ買賣セリ
 故ニチカコ府ニ造営セル國立銀行ハ十萬ドル
 ノ五分公債証書ヲ出納察ニ收ハ其價ニ通幣ニ
 於テ十一萬五千ドルナリ此公債証書ヨリ金貨
 ニ於テ五千ドルノ利ヲ政府ヨリ受ケ取ルベシ
 是レ金貨ナレハ五千七百五十トルノ通幣ト引
 換ベ得ベシ而シテ後銀行紙幣ニ於テ九萬ドル

ヲ受ケ取ルベシ此内ヨリ準備金トシテ二割五
 分ヲ引去リ六萬七千五百トルヲ以テ自由ニ商
 業ヲ營ミ得ルナリ是ヨリ一割ノ利ヲ得テリト
 スハ六千七百五十ドルヲ得ベシ是レヨリ一
 割ノ收税九百ドルヲ減シテ五千八百五十兩ノ
 入高トナルベシ此高ト公債証書ノ利分五千七
 百五十トルヲ相和セル者則チ一萬千六百ドル
 ハ銀行商業ヲ為シテノ利ナリ又々其七百五十
 萬ドルヲ以テ一割ノ公債証書若クハ典物ヲ買
 ヒ得タランニ八年々一萬千五百ドルヲ得ベシ

是ニ以テ見ル銀行商業ヲ為スニ於テ年々百
ドルノ利ヲ得ルナリ然レトモ公債証券打キ戻
ノ時ニ至リテハ一萬五千円ノ損失アリ
部或ヒハ南部ノ村落銀行ノ利益ハ一割ノ利
以テ僅ニ一分餘ニ出ツニウヨルク府ニ於テハ
七分ノ利ニ於テ其利益一分ト三分一ナリ東部
州縣ニ於テハ七部ノ利ニテ二分一ニ下ル
云フ蓋シニウヨルク府ニ於テ公債証書ヲ買ヒ
求メ通幣ヲ發行シテ得ル所ノ利益ハ八分ノ利
ニ過キス東部ニ於テハ僅カ九分餘ニ出ツルノ

三
千八百七十一年五月一日以前國立銀行ヨリ國
内租税頭ニ収メシ者ハ免許税則テ特別税及ヒ
所有税ナリ特別税ハ千ドルニ付テニドルノ税
ナリ所有税ハ利得ニ從ヒテ収ムル者ナリ
千八百六十四年五月一日ヨリ千八百七十一年
ノ五月一日ニ至ルマテ特別税五百三十二萬
千六百八十八トル四十三錢ヲ收メ又タ
有税ハ千八百六十九年三月一日千八百七十
一年九月一日ニ至マテ其高五百五十三萬九千二

百八十九ドル十七銭ニ及ブ其外國立銀行ノ左
ノ税ヲ合衆國ノ租税頭ニ拂ヘク則テ附托品ニ
於テ年々五厘ノ税登行セル紙幣ニ付テ年々一
分ノ税及ビ公債證書ノ抵当ナキ資本ニ於テ一
分ノ税是ナリ皆半季ニ拂フヘキ者ナリ
第十表ハ通幣條例ノ行ハレテヨリ千八百七
十三年一月一日ニ至ルマテ其間年々大蔵省ニ
敏メシ所ノ税表ナリ
千八百六十九年三月三日ノ條例ノ趣キニ國立
銀行ヨリ其利子分配高ノ半季報告ヲ當寮ニ差

出スベキ申シ渡サレタリ此報告ヨリ第十二表
ヲ按テ則テ資本及ビ餘分本分配高利子ノ
合計表並ニ資本ト分配高ノ割合資本及ビ餘分
本全ト分配高ノ割合資本及ビ餘分本全ト利子
ノ割合ヲ示スモノナリ蓋シ千八百六十九年三
月一日ヨリ千八百七十三年九月一日マテノ計
算ナリ
今此表ニ因ルニ國立銀行ノ分配高ハ其年間利
子一割ニシテ資本及ビ餘分本全ト分配高ノ割
合ハ約九分ナルヲ知ルベシ當今ノ法ニ因リ

ハ国立銀行通用幣ニ於テ一分ノ税アリ附託品
ノ分均高ニ於テ半分ノ税アリ以責証昏
ナキ資本ニ於テ半分ノ税アリ尤キ
課セシトハ實ニ軍費税ナリ如此キ税ハ未
嘗テ之ヲ他國ノ銀行ニ見ガル處ナリ他ノ資
及ニ原金ノ如キハ租税ヲ免カレ易レト雖モ國
立銀行ハ其報告ヲ致スヲ以テ税ノ割合ヲ定
易シ故ニ其運上ヲ出スハ其原資ニ以スルニ最
モ大テノ云フ其税ヲ課スル者キハ則チ利ノ
割合ヲ登貴セシムルニシテ皆ニ借方ノ拂フ

ベキ所ナリ夫ノ製産品ノ税ハ製造者ノ拂フ者
ニ非スシテ買客ノ拂フベキ者ナルカ如シ故ニ
衆庶ノ為メニ計ルニ附託品ニ税ヲ課スル法ハ
須ニク廢棄スヘシ若シ心スシモ税ヲ課セ
欲セハ政府借用証文ヲ發行スルニ如クハナシ
借用証文ヲ發行シテ為メニ利ヲ拂フモ政府
ノ損失スル所ナカルベシ
附表ニ示ス所ハ千八百六十九年二月一日ヨリ
千八百七十三年九月一日マテノ箇各州
交換都府ニ於テ國立銀行ノ資本ト分配高ノ割

合資本及ニ餘分本金ト分配高ノ割合資本及ニ
餘分本金ト利子ノ割合ヲ示ス者ナリ

銀行ノ償弁シ難キ者

昨年报知セシ以來十一座ノ國立銀行ノ為メ
跡引受人數負命セラレタリ其中七座ハ恐慌
時ニ當ツテ分産セリ第十四表是レナリ

總ラ此銀行ノ破産セシ所以ハ其ノ後人共ニ承
扱ノ所キ届カサルト取締後ノ條例ヲ奉セサル
ニ起ルナリ其ノ後人ノ二人ハ禁錮セラレ一人
ハ有罪ニ決シ他ハ方サニ糾問セラレタリ又

又最初破産セシ銀行ノ頭取ガハ外國ノ株主ヲ
尋子是レヲシテ其株ヲ増サシムルト言ヒ做
テ遠ク去レリ故ニ破産ノ報ヲ為スト魚モ歸國
セザルナリ

此銀行ノ貸シ主ノ為メニ分配高左ノ如ク公告
セラレタリ

チカコ府又カンチ子ウヤン子シヨナル
ニ割五分

ニワヨルク府ニツトルタウンウホーニキル
子シヨナルバク
七割五分

ニウヨルク府アタランチツク子シヨナル
バンク

五割五分

ワシントンホルスト子シヨナル

三割

往年破産セシ銀行ノ分配高今年

リテ左ノ如ク公告セラレタリ

アラハマセルマホルス子シヨナル

三割五分

ニウヨルク府ウチゲラ子シヨナル

三割二分

ラバンク

コン子クテカトベセルホルス子シヨナル

二割八分

ミシッヒ子シヨナル

三割五分

イルリノイスロツクホルドホルス子シ

二割五分

子ダタライスチンホルス子シヨナル

一割五分

ニウヨルク子ダタ

一割

アルカニヤスフホルトスミスホルスト子
シヨナルバンク

十割

右價比ノ尺損セル所ハ忽テ之ヲ株主ニ課シテ
償濟セシメラル、ナリ而シテ若シ是ヲ拂ハ
レハ即テ訟庭ノ裁合ニテ其不足ヲ補フト
ナリニウヨルク府ノラシユン子シヨナルハ
同府ミツドルタウンノウラルキル子シヨ
バンク同府アトランク子シヨナルバンク
ロンビヤノ地ホルスト子シヨナルバンク
ワシントンニウヨルク府子シヨナルバンク

フゼロニモシユルスタハイラフホルスト子
ヨナルバンククラフメンスホルト及ヒペン
ルウニヤホルスト子シヨナルバンククラフ
リストル以上諸銀行ノ跡引受人来リテ僕
クニ来年必ス皆済スベキヲ以テス僕亦タ銀
行ノ諸道具ヲ収メ成ルベキ丈ケ十分ニ貸主
送ラシメテ望ム豈ニ寸銖ノ勞ヲ吝ミテ放置
ルヲアランヤ然ルニ貸主ハ常ニ遠カニ之ヲ得
ンテ望ミ其日ヲ擴スルヲ以テ紙幣頭及ヒ跡
引受人ノ懶惰ニ歸ス而シテ紛紜ヲ理シ事實ヲ

審ニシ成ル丈ケ皆テ貸シ主ヲシテ損失セサラ
 シメント欲スルヨリ尙ノ遅延セルヲ悟ラサル
 ナリ是カ路ニ当ル又難カラヌヤ前ノアトル子
 一程子ラル官名アツケルマン氏ノ言ニ曰合衆國
 政府ハ出納憲ニ収メタル抵当金ノ外國五銀行
 ノ預リタル金銀ニ就テ參與スルノ權ナカルベ
 シ此事當アトル子一程子ラルニ至テ決定大
 藏卿亦之ヲ許サレシヨリ先年アラハマゼホ
 ルスト子シヨナルバンクヲフセルム及ビミ
 ヲツピレゼ子シヨナルバンクヲフウソキスホ

ルク両銀行貸シ主ノ分配ハ此ノ決議ニ據テ取
 リ行ナハレタリニウヲルリヤンスノホルス
 子シヨナルバンクノ貸主ノ分配ハ今ニ至リテ
 決セス是レ政府ノ貸シ金アリテ出納推頭ノ手
 形ノ拂ヒ残り高猶ホ二十二萬千七百六十九ト
 ルアルカ為メナリ然レ此之レ皆ナ不日ニ皆消
 シ二割五分ノ分配ヲ公告スベシト聞ク
 ニウヲトリヤンスホルスト子シヨナルバンク
 ノ破産スルニ當テ英國リベリアールノ銀行ニ
 当テ、振出セル手形アリ其高二十八萬ドル程

ニ及ヘリ故ニ英國ニ於テ手形ヲ所持セル人ヲ
エッセリト名廳ノニ來リテ手形ノ英償ヲ請エリ
ウイスチエッセルロル名官ノ意見ハ手形所持人
ノ理ヲ取レリ跡引受人ハ亦タロルトハイチエ
ンセルロルニ歎訖セリ而シテ其傍ラニ坐セル
法官ウイスチンセルロルノ説ヲ論駁シ遂ニ跡
引受人ノ方ヘ金子ヲ拂ハシメタリ此訴訟英國
ニ於テ六年ヲ費ヤシタリト云フ
若シ銀行ニ於テ手形ノ拂ヒヲ拒ム或ハ篤ト檢
査ノ上其諸道具ヲ以テ其借債ヲ拂ヒ能ハサル

ノ事情ヲ發見セハ即チ跡引受人ヲ命セサルベ
ガラズ今章ニ僕ヲシテ此權アラシメ為メニ法
令ヲ下シ賜フテアラハ感謝ニ堪エサルナリ且
ツ結社免許狀發收ノ一ニ付キ條例五十三條ノ
趣キヲ以テ掛合セズキ跡引受人ヲ命ズヘキ一
ニ付テハ更ニ記載スル所ナシ又タ衰弱セル銀
行ニ於テ法ニ觸ルテモテク其責務ヲ解カント
請ハゞ條例四十二條ニ從ヒ償辨マシムベシ何
レニテモ跡引受人ヲ命スルハ緊要ナルヲナリ
又タ會社ノ總テノ借債ヲ拂ヒタル後ハ銀行ノ

諸器械ハ株主ニ差シ送り紙幣頭及跡引受人ハ
全ク手ヲ収ハベシトノ條例ヲ要ス其外爭訟ノ
長ク決セスシテ分配ノ延引スル際ニハ出納票
ニ納メ置ケル本金ヲ以テ利アル抵当品ニ出来
ト置ベシト條例ヲ要スルナリ
罪科ノ處法モ法令違背ノ罪ヲ以テ國立銀行ノ
役人取締役共ニ施スベキナリ尤モ代訴人ノ
諾否ニ因テ常ニ輕重スルヲ得ヘキナリ
其恐慌ノ際僕大ニ心勞セシナリ其誤ハ一二
ノ私營銀行ヨリ國立銀行ニ負債セル高其十分

一以上ニ登レリ條例二十九條ニ私營銀行州縣
銀行ニ附托スルニ望ミ次第返却ノベキ者ハ之
ヲ禁セス僕前ニ此條例ノ改正ニ請フ先日ノ公
會ニ之ヲ示セリ其文ニ曰ク商人若クハ商社ノ
銀行ニ負債スベキ高ハ銀行ノ現在ノ資本及ヒ
餘分本金ノ十分一ニ越エベカラス但シ商社ノ
負債ト云フハ其組合連中ノ負債ヲ合算セル者
ナリ

畜産銀行 信任貸附 州縣銀行 塔ナ州縣
得ラ立テナリ ルモノナリ

千八百七十三年一月十九日議テリ布令アリシ
條例ニ紙幣頭ヲシテ年々州縣地方ノ特令ニ因
テ營業セル銀行為替中間畜金銀行ノ資金負金
ヲ簡易ニ報知スベシトアリ其内報知セザル者
ハ五派ナル韓解ヲ致セリ故ニ其報知シテ解ス
ベキ者ノミヲ附ス

畜金銀行

右ノ布令ヲ奉シ是ヲ施行セント欲セシヨリ却
テ意外ノ難事ヲ蹈ムニ至レリ聯邦三十七州縣
ノ内ヲ見ルベキ者ハ八州縣ニ過キス其九州ハ

全ク報答スル所ナシ其報知ノ正容キラザル實
ニ條例ノ望ハ所ニ負キ僕ヲシテ失望セシムル
者ナリ其内十州ハ報知スベキ者ナシトノ答エ
ナリ他ノ十州ハ報知スト雖モ明瞭ナラス或ハ
ハ其社數ノ委細其資金負金及ヒ差引キ勘定亦
タ分明ナラサルナリ故ニ報知ノ好悪ニ從ヒ
之ヲ四級ニ區別スト云フ

第一 當寮ニ於テ校正シ細密ニ記載スル
ノ得ル者

第二 州縣銀行畜金銀行借貸中間ノ數ヲ

明細ニ告知セザル者

第三

其行法官ノ威ヲ挫ンテ毫モ告知ス

ル能ハスト断リタル者

第四

何トモ返答ヲ申シ越テ、ル者

第一ニ属スルモノハニウイソクラントニウヨ

ルクニウゼルシイ及ヒココロソビヤノ地方ノ銀

行ナリ此報告ハ資金負金ヲ明細ニシテ以テ表

トナスベキ者ナリ其委細ハ附表ニ詳カナリ

第一州縣畜金銀行

次キニ記スル處ノ款條ハココロソビノ地方ヲ除

クノ外左ノ州縣ノ畜金銀行ニ属スル者ナリ

第一

此ノ州縣ハ昔東部ニ属スル州縣

ニシテ相共ニ境ヲ接スルノ地ナリ

其銀行多クハ老實ニシテ程ト善ク

社ヲ結ベリ且ツ合衆國ノ他ノ地方

ニ結構セル金銀扱ヒ所ヨリモ全氏

ノ所望ニ奉順セリ

第二

千八百七十二年ノ末季ニ取知イタ

シ通リ其付托品ノ高ハ州縣ニ

付テ六億六千三百二十四萬四千百

七十九トルニシテ同州縣國立銀行
 付托品ノ高ハ三億六千〇二十九万
 九千二百零六トルナリ其割合殆
 六十五ト三十五トノ如シニウイ
 ングラント六州縣ノ畜金銀行ノ附
 托品ハ千八百七十二年ノ末ニ至リ
 テ三億四千九百三十九万五千三百
 七十七ニシテ同州縣國立銀行ノ附
 托品ハ唯一億零四十七万八千四百
 十五トルナリ則チ七十七六六ト二

十二三四ノ割合ニシテ九ト三ト
 二分一ト一トノ如シ
 又タ此時四百零六座ノ畜金銀行アリ四百四十
 九座ノ國立銀行アリ同年秋分ノ計算ニニウイ
 ングラントノ人口ハ三百六十二万八千八百三
 十五人ナリ附托人ノ表著セル者ハ一百十萬九
 千九百九十五人ナリ即チ全人口ノ百分ノ三十
 五ニ均シ千八百七十三年一月コン子ノチカッ
 トノ報告ニ畜金銀行ノ附托者ノ數ハ全人口ニ
 比スルニ百分ノ三十九ナリト云ヘリ尔時付托

總高八州中ノ一人ニ付テ一百二十九ドル五
十錢ニシテ附托者一人ニハ三百四十ドルナリ
ニウイシタラント六州ノ附托品ノ高ハ付托者
一人ニ付キ三百十五トル七十三錢ナリト云フ
此六州縣ノ畜金銀行ニ於テ利及ヒ分配ヲ拂ヘ
ル元入金ハ三億四千〇五十五万六千九百九十
七トルニシテ附托品總高ノ九十七一六ニ均シ
而シテ其手元金ハ五百九十一万三千百二十七
トルニシテ則テ負金ノ一分六厘九毛ニ當レリ
其原金ノ景況ハ附表ニ付テ之ヲ見ルベシ附托

者ニ拂フ所ノ利及ヒ分配ノ割合ハ亦々其概畧
ヲ知ルベシ此州ノ報知ニ或ハ利ノ割合ヲ記セ
サルアリ或ハ其附托品ト懸スル者ニ於テ利ヲ
モ合算セル附托品アリトノコナリ
ニウイシタラント畜金銀行ノ商業ノ景況ハ千
八百七十三年一月一日コン子クケカツトノ報
知ニ因テ見ルベシ
于附托品ノ總高
六千八百五十二兩三十三百九十七兩
土地家産ノ書入

四百三十七万四千零十五ドル

動産及ヒ抵當品

九百四十九万五千八百十ドル

公債證書類

千六百四十二萬三千六百六十二ドル

合計 六千九百零九万三千四百九十六ドル

全家財

七千百二十七万三千三百九十五ドル

手許金

百五十六万七千三百三十四ドル則チ

付托品ノ二分二厘八毛

ニウインクラント 畜金銀行ノ繁昌セルハ千八

百七十二一年一月一日ヨリ次年一月一日ニ至ル

ノ際コン子クテカワトノ告知ニ付托品ノ増加

セルヲ以テ知ルベシ以前ノ時ニ於テハ六千二

百七十一万七千八百十四トルナリシカ其一年

ノ間ニ五百二十万五千五百八十三トルヲ増加

セリ則チ殆ソト九分二厘五

千八百七十二一年ノ終リニ至リテニウイングマ

ト畜金銀行ノ貸付及ヒ割引ハ二億五千百

六十六萬八千七百六十四トルニシテ同州國立
銀行ヨリ尋キテ二千五百六十一萬八千四百十一ト
ル則チ九分五厘ニ均シ

ニウイングランドニウヨルクニウゼルセルノ
三州縣ハ現今營業セル銀行ノ尤モ精巧ナル者
ナリ此州縣ノ諸會社皆テ報知ヲ致ステ一年ニ
一度ニシテ且ツ歲末ナレハ此年報ヲ書スル時
ニ於テ今年ノ報知ハ未タ之ヲ得ス第テ州縣ノ
畜金銀行ニ於テ附托品ノ割合ヲ知ラシメンカ
為ニ曾テ同縣國立銀行ノ表ヲ附サシ今又々大

英島及ヒアイラントノ銀行トノ比較ヲ記シ
テ商業ノ事務隆衰如何ヲ示ス

大英島ノ旧立畜金銀行ニ於テ表簿ナル附
托者ノ人数ハ千八百七十二年十一月三十
日ニ當テ一百四十二万五千四百四十七人ナ
リ取遮察畜金銀行ノ附托者ノ數ハ同年十
二月三十一日ニ當テ一百四十四萬二千四
百四十八人ナリ

前者ノ附托者ノ屬ル高

三十九百六十八万零六百五十二ポンド

後者ノ附托者ニ属スル高

千九百三十一萬三千三百三十九ポンド

總計 五千八百九十萬八千三百三十九

ポンド

故ニ一人ニ付二十ポンド十二シリング

ノ平均高ヲ有セリ又タニウイグランド

ニウヨルク及ヒニウゼルセイノ附托者ノ

數ハ二百零四萬四千六百四十人オシテ其

全附托品ハ六億六千三百二十四萬四千百

七十ポンドナリ故ニ一人ニ付ギ三百二十

四トル四十五錢ノ平均高ヲ有セリ然ルニ

英國ニテハ附托者二百八十六萬七千五百

九十五人ニシテ附托品ニ億八千六百十四

萬五千百零七トルナリ故ニ一人ニ付平均

高九十九トル九十一錢ナリト云フ

今日此割合ノ大ニ相懸隔セルニ付テニウイグ

ランドノ畜金銀行ノ附托品如何ナレハ斯ク

考量ナルヲ推究セサルベカラズ報告ニ於テ更

ニ之ノ記スルヲナシ然レモ眞ノ畜金タル者ハ

其四分一程ニシテ其餘ハ皆テ商業ノ融通ヲ為

蓄金

セル者ナランノミ

第二州縣蓄金銀行

此銀行ノ報告ハ蓄金銀行ト名ヲ称スト雖モ實ニ資本及ヒ株主ニ拂エル分配高ヲ示セリ其社結ヒ其職ヲ営ム一ニ尋常ノ銀行ニ異ナラス乃チ割引ヲ為シ附托ヲ受クルノ銀行ナリ我カ内務租稅條例百一號ニ蓄金會社ノ委細ヲ記ス今其語ヲ引キ左ニ示ス

請合商社蓄金銀行等ノ會社ハ資本金ヲ要スルヲナス且ツ附托ヲ受クルノ外カ他ニ

3

職業ナキナレハ其會社ノ為メニ利益若クハ報酬ヲ期スルヲナク但々附托者ノ利潤ヲノミ計ルベキナリ

我合衆國デユフォーラムコールド決議官^レスールト氏ゼルマンセイビンクスエントロインバンノ夏ニ付キ千八百七十一年七月某日カルズルニヤ地方ノ評議ニ於テ大ニゲラールゲラートルトン氏ト討論シ右ノ條例ヲ主張セリ僕亦此意ニ從ヒ資本及ヒ分配高ヲ示セル銀行ヲ以テ蓄金銀行ノ中ニ算ス可カラストス

大蔵省

第二州縣畜金銀行ノ報告大ニ遺失アル事

此州縣ニ於テハ或ハ其定法及ヒ免許状ヲ以テ一年若クハ半季ニ報知セシムル魚モ毫モ之ヲ統計表ニ示サザル者アリ或ハ私営銀行ハ其シユアレトムコトニ到ルヘクシテ紙幣頭ニ近リテ禁ムル者アリ又々其附托者ノミニ報告セルモノアリ相應ノ報知ヲ致ス能ハサルニ及ンテスラデルモヤノ畜金銀行ノ最モ大且其實ナル商社ヨリテ答唇ニ幾ハ出板セル報知ヲ可

持セト云ヘリ唯其附托者ハ殆ント四萬五千トニシテ其所持金ハ約千二百万ドルナリヲ推視ムベキノミ畜金銀行ノ多クハ其最奇ノ新聞紙ヲ以テ世ニ公告スト雖モ其州縣ノ大藏省ニ於テ曾テ之ヲ記録スルヲハ決シテナキナリ

コロンビヤ地方ノ畜金銀行
千八百七十二年ノ年報二十六葉ニ於テ僕其ノ千八百七十年六月一日ノ條例四章過簡ノ法ヲ改メテ要心ナル限制ノ法ヲ布ラベキヲ勸メシテアリ今此年報ニ於テ亦タ之ヲ促シ奉ルト云

第三州縣

此州縣ノ行法官ヨリ僕ニ答フルノ書アリ今其
一二句ヲ抜抽シテ左ニ記ス以テ其不精ナル概
畧ヲ表スルニ足ルカ
ウルクニヤ州ノ知吏ノ昏中ニ曰ク銀行紙幣ヲ
發行セサル銀行ハ州縣普通ノ法令ヲ以テ造立
セラレシナリ故ニ租税ノ事ニ関スルカ外カ他
ニ我政府七藏省ノ役人ヲ煩スベキナシ豈ニ
報告ヲ致スベキ義務アラレヤ

西ウルクニヤ州ノ知吏答書ニ云フ我州中ニ割
引ヲ爲シ且ツ附托ヲ受クルノ銀行アリト雖モ
皆十州縣普通ノ法令ヲ以テ之ヲ結社セシメ之
ヲ免許セシナリ我州律令中ニ銀行ヲシテ報
知セシマルノ條ナシ僕獨リ之ヲ負ク可ケンヤ
アルカンサス州ノ知吏答書ニ云フ僕謹テ法令
ヲ案スルニ畜金銀行及ヒ州縣銀行ヲシテ州廳
ニ報知セシマルノ條ヲ見ス故ニ且下ノ需メニ
応スル能ハサルナリ
三ツリトリト州ノ知事云フ銀行及ヒ畜金銀行

ハ州縣普通ノ法ヲ以テ造営セラレ固ヨリ當ニ
年々若クハ半季ニ報知スベシト而シテ其末章
ニ至リテ然レトモ其内実ノ報告ハ致スベカラ
スト云ヘリ

アラハマ州書記官ノ答ニ我州中ニハ象評定ノ
別段ノ條例ヲ以テ造営セシ蓄金銀行アリ然レ
氏僕敢テ之ヲ足下ニ表シ其律令ノ下ニ付テ且
下ヲ憂慮セシムルヲ欲セサルナリト云ヘリ又
タ統計表ノ復ニ付キ同州中ノ國立銀行ヨリ報
知ヲ申シ付ケシ時其役人ノ答ニ当市中ノ州縣

銀行ニ座ニ於テハ株主取締後ト雖ドモ其報知
ヲ得ル能ハザル者アリ其他ノ銀行ノ如キハ政
権ヲ以テ之ニ臨ムニ非サレバ報知ヲ得ル能ハ
サルベシ

ニシ、ピノ知復答書ニ曰ク我州法ニ銀行及
ビ蓄金銀行ノ造営スルノ権アリト雖モ是ルガ
為ニ銀行ヲシテ州廳ニ報知セシムルノ権ナシ
カンサス州ノ知復ノ云ク蓄金銀行ハ其州新聞
紙ヲ以テ其事情ヲ公布セサルベカラス然レモ
是カ為ニ州縣ヨリ政府ニ報知スベキ理ナシ

右十州ノ役人僕ニ答フル處其意義殆レド相同
シ僕其州ノ新聞紙ヲ見ルニ州縣銀行畜金銀行
ニ信任貸シ付ケ會社ノ必在ヲ知ルト虽モ其商
業ノ景況ニ付テハ十分ナル報知ナシ僕ノ年報
ヲシテ定全セシムル所アラサルナリ

第四州縣及ヒ地方

此分内ニ十二州縣九地方ヲ含メリ而シテ一ノ
報知ナク一ノ答書ナシ

信任貸附ケ會社

此會社ハ州縣ノ律令ノ特許ヲ以テ大都會ニ造

立セラレ其資本附托及ヒ商業實ニ大ナリ然レ
此州廳ニ報知スハキニ非ス間々官省ノ命ニ因
テ報知スルアリ又々稀ニ新聞紙上ニ見ハトア
リ其報知タル者則テ銀行諸器械ノ表ニシテ附
托者ニ屬スル高及ヒ其負金ヲ示サ、ルナリ
ニウヨルクノ銀行見張役ヨリ報書ニ曰クニウ
ヨルクノ貸シ付會社ハ奇妙ニ造當セラレシ者
ニテ或ハ銀行觀察ノ内ニアリ或ハ州務掛リノ
支配ニ屬スルアリ然レ此多クハ他人觀察ヲ受
ケサル者ナリ此會社近頃大ニ増進セリ然レ此

僕今其免許状ノ寫稿ヲ呈シ箴ハスト云ヘリ此
會社ノ報知一二ヲ得タリ然レ其全數ハ以テ
レハ極メテ小ニシテ其一元ノ景況ヲ知ル能ハ
ス故ニ全ク之ヲ茲ニ記セス

州縣銀行

附表ニ於テ州縣銀行ノ景況ヲ記スル者ハ其報
告ノ取ルベキモノヨリ抜輯セシ所ナリ其數ノ
欠ケタルト其數ノ密ナラサルトヲ以テ之ヲ合
表ニ集ムルノ外カ敢テ之ヲ世ニ公ニスルヲ欲
セサルナリ
官府ニ於テ畜金銀行ト云ヘル議ヲ謬解シ此州
縣銀行多クハ自ラ稱シテ畜金銀行ト云フ然レ
モ其資本金ヲ現ニ所持セルヲ以テ附表ニ割引
ヲ為シ附托ヲ受クルノ銀行ト稱スルモノハ則

テ此銀行ヲ云フナリ
ニウヨルク州縣銀行ノ報告ハ精密ニシテ全ク
畜金銀行ト異レリ且ツ此度ノ報告ノ期ハ當年
九月十二日ニシテ國立銀行報告ノ期ト同日ナ
リ州縣地方ノ法ヲ取り稅ヲ課スルノ諸役員等
クハ僕カ請ニ從ヒ為メニ報告ヲ賜ヒシト厚意
實ニ謝スベシ蓋シ我カ政府ノ官ニ居ルモノ州
縣ニ對シ金銀ノ取り調ヲ請ヒタリシコト、前
未タ嘗テアルトナシ故ニ今其探索ノ由故ヲ知
ラス其表ヲ記スルニ熟セサル者ヲシテ忽テ詳

審ヲ記セシメント欲ス報告ノ少キ深ク答ムベ
カラサルナリ然レモ僕望ハ次年ヨリ報告ノ數
増加シテ統計表ノ精良ナル者ヲ得ルニ至ラン
トヲ
州縣ノ金銀扱ヒ所ノ報告ヲ集ムルハ我政府為
計寮ノ調ヘノ如クニテ人民ヲシテ相庭貿易ノ
實際ヲ知ラシムルニ在ルノニ故ニ議院及ヒ州
縣ノ法官幸ニ其顧慮ヲ垂レ數行ノ法令ヲ布キ
僕ヲシテ向後完善精良ノ年報ヲ作ラシムルハ
伏シテ望ム所ナリ

貨幣及之餘分本金

第十五表ハ表中ニ記載セル年限中ニ國立銀行ノ所持セル金貨ノ高ヲ示ス者ナリ則チ此六年ノ間ニウヨルク府ノ國立銀行ノ所持セシ金貨貨幣請取証書金貨ヲ以テ償ハスベキ証書ナリ及ヒ金貨ニテ仕拂フベキ手形ヲ云フナリ此州ノ報告ニ貨幣ト称シテ手形ヲモ包藏セリ故ニ此表ヲ記スルノ前ハ金貨ノ真実ノ高ハ分明ナラサリニナリ諸國立銀行ノ餘分本金ハ總計一億二千萬ニ下ラス此高常ニ陟降セル者ニシテ損失及ヒ借債

ノ悪キ者ハ此内ヨリ拂フベキナリ條例ニ商社商人其他組合社中ノ負金ヲシテ其入金海ノ資本ノ十分一ヲラシムベシ今ニ交換府ニ於テ之ヲ資本及ヒ餘分本金ノ一割五厘ト定メ其他ハ其一割ト定メシムベシ

シンプラストル 紙幣ノ屬ニシテ 卑メシ語ナリ

先年ノ年報ニアラバマ州ニ於テ手形發行ノ一ヲ記セリ是レ合衆國憲法第十條第一号ニ固ク禁スル所ナリ其外南部ノ民國法ニ許サレル紙幣ヲ發行ハルヲアリ五法官ノ諸賢少シク意ヲ

茲ニ止メンコトヲ望ムナリ今マヤ如此キ者諸方ニ蔓布セリ南部ノ鉄道會社數年頃ヨリ不種ノ通幣ヲ發行セリ今マ其一ヲ上ケテ之ヲ証ス

第十號十ドル

ゲヲルゲヤサンナ

中國鉄道會社運賃手形

右ハ御持參候ハ、旅客二人ヲ乘セ百二十五里ヲ馳走セシメ可申候也

千八百七十一年十二月一日

サンナ一頭取

何某

取締役

何某

此手形ハ鉄道會社ノ償券スベキ者ナリ此ト同
様ナル仕組ニテ製造會社ノ發行スル者多シリ
ペリラル湖ノ鑛山會社及ヒ塩湖ノ商法會社ノ
發行是ナリメーン州ヨリニウガルニスウイツキ
セイントステフェンニ住スル社中ニ振リ込ス手
形是ナリ此發行實ニ通幣ノ高ヲ増加シ害ヲ生

スルニ至ラン議院タル者望シク之ニ過代ヲ徵
メ若クハ重税ヲ課シ不正ノ所業ヲ改メムベ
クシテ可カラレカ

別段附托品

別段附托品ト称スルモノヲ國立銀行ニ於テ預
カルヲヨリ殊ノ外惡幣ノ萌出スルヲナリコム
モンロフニ習俗ヨリ投テトナリタルモノアリ
預リ入ヲシテ左ノ如ク區別シ其義務ヲ定メタ
リ曰ク預リ人ノニ贏利ヲ擅ニス場合ニ於テハ
別段ニ固ク其約束ヲ奉守セザルヘカラス

双方ニ贏利ヲ配当スベキトキニ於テハ尋常ノ
勉勵ヲ以テ其約束ヲ奉守スベシ貸シ主ノニ贏
利ヲ得ル時ニ於テハ怠慢ヲ為スベキ推アリト
云リ銀行ノ得意家ヨリ預ケ置ク所ノ別段付托
品ハ則チ最後ノ種數ニ屬スル者ナリ其物品ハ
多分ハ木篋若クハ錫箱ニ斂メタル公債證書ニ
シテ銀行ト懇意ナル商人ヨリ安全ノ為メニ銀
行ノ金藏中ニ置クヲナリ銀行素ヨリ如此キモ
ノヲ受クルヲ望マスト雖モ永年ノ習ニ之ヲ
嫌ヲ敢セス故ニヲシユン子シヨナルバンクノ

更起ルニ当テ七ヶ條ノ詞訟出ラ未レリ此レ時
ナ理論ヲ異ニシテ何レモ高廳ハ裁定ヲ要セ
モノナリ故ニ長續セル爭訟中ニ貸主銀行ノ雙
方共ニ大ニ出金スルニ至レリ僕竊ニ思ラク若
シ通幣條例中一二條ヲ加エテ此ノ附托ノ事ヲ
定メハ如此キニ至ラサルヘシ此ノ銀行ノ盜難
ニ遇ヒシトハ仕拂ヒ日延以前ノトナリ此盜難
ニ於テ自家及ヒ組合ノ公債証昏マテヲモ奪掠
セラレタリ茲ニ於テ是ヲ見ルニ銀行ニ於テノ
自己ノ物同様ニ得意家ノ物品ヲ注意ニシテ

知ルヘシサレハ此時銀行ヨリ其ノ所有品ノ
ナラス銀行ニ利益ナキ預リ品ヲモ同様ニ注意
セザリシト申シ出テタランニハ陪審役大ニ決
議ニ困却スベシ是レト同様ナル事故償金レカ
タキ國立銀行ノ事務ヲ理スルニ於テ數々起ル
トナリ大都會ニ於テハ安全付托會社ノ設立ヲ
ルヲ以テ一行ノ法ヲシカハ之ヲ禁止スベシ只
村落銀行ニ於テハ常ニ法ヲ備エテ之ヲ制スル
ニ非サレハ禁スル能ハス其條例ノ文宜ニク左
ノ如クナルベシ

國五銀行ハ尙後ハ其預カレル別段付托品ノ損
失ニ付テ差構フベキ義務ナカレシ尤モ其附
托品ノ持主ヨリ著明ナル預リ証昏ヲ差出シ銀
行ノ眞実ノ負金タルヲ示ストキハ銀行ヨリ
之ヲ償ハサルベカラス

此條例ヲ施ストキハ品附者ハ之ヲ預クルニ要
心シテ銀行ヨリ受取昏ヲ取ラントニ注意スベ
シホタ之ヲモ懸念セシテ預クルキハ是レ其
随意ニ任スベシ彼レ素ヨリ其危難ナルヲ兼
知セルナリ

傷損セル通幣

第十六表ハ條例ノ行ハレテヨリ千八百七十三年十一月一日ニ至マテノ間銀行紙幣ノ發行セシモノ償却セシモノ今日流通セシモノノ數ト

金高ヲ示スモノナリ
千八百六十三年條例ノ編輯セラレシヨリ千八百七十三年十一月一日マテニ一億三千二百八十四萬五千二百一十ドル此高發行高ノノ通幣三分一餘ナリ傷換ニ付キ大藏省ニ來レリ即チ左ノ如シ

千八百六十五年十一月一日迄

十七萬五千四百九十ドル

千八百六十六年十月三十一日年算

百五萬三百八十二ドル

千八百六十七年十月三十一日ノ年算

三百四十萬一千四百二十ドル

千八百六十八年十月三十一日ノ年算

四百六十萬二千八百二十五ドル

千八百六十九年十月三十一日ノ年算

八百六十萬三千七百二十九ドル

千八百七十年十月三十一日ノ年算

千 百三十萬五千六百八十九ドル

千八百七十一年十月三十一日ノ年算

二千四百三十四萬四千四十七ドル

千八百七十二年十月三十一日ノ年算

三千二十一萬千七百二十ドル

千八百七十三年十月三十一日ノ年算

三千六百四十三萬三千百七十一ドル

合衆國出納後人銀行紙幣償弁ノ時傷セ

ニ高

九百七十一萬六千七百三十五ドル

大蔵省

合計 一億三千二百八十四萬五千二百十一

ドル

先年ノ如キハ銀行紙幣ノ三千六百四十三萬三千百七十一トルヲ傷損セリ蓋シ此ノ高ハ全通幣ノ十分一餘ナリ
紙幣及ヒ銀行紙幣ノ高当今殆ンド相ヒ同シ而シテ銀行紙幣ノ全高ハ常ニ流通スト爲ニ紙幣ノ三分一ハ準備金トシテ國立銀行ニ歛メラレタリ又銀行紙幣ハ獨リ之ヲ發行セル銀行及其支店ノミニテ交換スルヲ得ベシト雖モ紙幣

ハ合衆國政府大蔵省ニ於テ償辨スベシ故ニ紙幣ノ價ト常ニ銀行紙幣ニ越ユル所以ナリ
若シ大蔵省諸役員若シクハ預リ役ヲ安民ノ所預ル人等ニ於テ黽勉シテ其種類ヲ區別シ新紙幣ヲニウヨルクノ交換支店ニ送廻シタラシムハ傷損セル紙幣ヲ改メ新造ノ者ト爲ス易シト云フベシ條例三十九條ニ各會社ハ預リ金又ハ仕拂ニ於テ当今平價ニテ請取リ難キ紙幣ヲ他ニ仕拂フヲナカレ又タ合衆國ノ正金ニ引換エタシト拒ミタル銀行ニ於テ發行セル銀行紙幣

ヲ拂ヒ出シニ用エベカラスト云ヘリ僕因テ思
フニ如此キ銀行紙幣ノ取り戻シ宜シク政府
費用ニ歸スベシ此費金ハ宜シク銀行紙幣發行
ノ税中ヨリ割り出スベキナリ如此クスル
ハ破産セル銀行ノ紙幣忽テ来リテ償弁ヲ請フ
ベシ其高ハ五百二十四萬六千九百三十八
ナリ此ヲ以テ不足セル州縣ニ配分セハ亦タ可
ナラスヤ

紙幣寮中列ニ一課ヲ設ケ國五銀行紙幣傷損ヲ
種別シ之ヲ交換イタシ庶キトノ一ヲ數々國五

銀行ヨリ申シ出テタリ以ツ其廳費ハ紙幣ヲ
出セル銀行ヨリ割合ヲ以テ収ムベキナリ附
タリ僕若シ相当ノ権アルヲ得テ且ツ國五銀行
ヨリ廳費ヲ出納寮ニ収ムベクハ僕豈下敢テ辞
センヤ

條例二十四條ニ銀行紙幣ヲ燒滅スルノ法方猶
尽サスト云フベシ抑々拾遺ノ策ハ實檢ノ上ニ
起ルト真ニ然リ方今ノ計宜シク適當ナル器械
ヲ買ヒ求メ傷損セル紙幣ヲ微細ニ磨粹シ用テ
ベカラサスノ紙ヲシテ後來ノ用ニ供セシムベ

キナナリ

新造銀行紙幣

千八百七十四年六月三十日ノ年算ニ於テ政府
ノ冗費ヲ減省セシメンカ為メニ左ノ條例ノ布
達アリタリ

銀行紙幣ノ傷損ヲ償辦シ大藏卿ノ註文セ
ル形状模様ニテ新銀行紙幣六十萬ドルヲ
増製シ右銀行ノ用ト來レル模製シ易キ紙
幣ト引換ユベシ且ツ右通幣製造ノ費用ハ
銀行ニ於テ償フベシ

通幣條例四十一條ニ銀行紙幣 刷板ニ付キ紙

幣頭ノ申シ付ケベキ故及ヒ極印ハ其隨意

任スベシ而シテ紙幣ヲ造リ此條例ヲ実行スル

ニ付テ要スル處ノ費用及ヒ其局ノ諸費用ハ向

後通幣發行ニ付テ課スル處ノ税金ヲ以テ仕拂

フベシ茲ニ課スベキ税ハ五厘千分ノ者ニシ

テ一月ト七月トニ大藏省ニ収ムベキモノナリ

此令ニ因テ既ニ二千二百四十六萬零三百三十

ニトルノ税金既ニ大藏省ニ集マリタリ○傷

幣ヲ適用スルノ一條公布セララルニ於テ管理

大藏省

後ヨリ僕 報知ス。處ナシ又々國立銀行ノ冗
費ヲ以テ銀行紙幣ノ一ニ付大藏卿亦タ嘗テ
ニ勸メス僕豈ニ疑ヒナキヲ得ンヤ今新紙幣ノ
彫刻ニ於テ必ス一百万ドル餘ノ費ナカルヘカ
ラス之ヲ發行スルニ至ルニ及ヒテハ其費二百
萬ドル餘ニ及ブベシ今此ノ稅ヲ以テ國立銀行
ニ課スル亦タ甚シカラスヤ

國立銀行之ヲ以テ不便トナス其言ニ曰ク當時
新紙幣ノ發行ハ敢テ望ムニ非サルナリ故ニ政
府若シ固ク之ヲ發行セシムルハ條例四十一

條 從ヒテ既ニ收メタ 税金ニ以テ其費用ヲ給
スベシト云ヘリ蓋シ銀行ノ為ニ新紙幣ヲ發行
スルノ費用ハ政府ノ自ラ擔任スベキ所ナリ夫
レ政府ハ常ニ紙幣ノ引換カタキモノ損失シタ
ルモノヲ引換ユルトニ多分ノ利益ヲ得ルニ非
スヤ此事ヨリ得ルノ利益ハ新札ヲ造ルノ費ヨ
リ多シ故ニ政府ハ必ス其責メヲ得ベキモノナ
リ
ボストン府銀行組合ノ書記官トテ有名ナル
納後ヨリハ札防護ノ一ニ付キ近頃一札ノ書ヲ

得ナリ今一ヲ閱スルニ新紙幣發行ニ付テ諸國
ノ銀行ノ意見概略ヲ見ルベシ

當銀行發行紙幣ニ於テ是マテ偽模セシ者
ハ決シテ無之又々其他諸銀行發行紙幣ニ
於テモ其害實ニ少シ村落ノ組合社中ヨリ
版知致候高ヲ取調候ニ亦々其偽札ナキ
ヲ詳カニ致候右ノ一ニ付キ熟々勘考仕候
ヲ千八百七十三年三月三日國立銀行ノ費
用ヲ以テ銀行紙幣ノ新版ヲ製スベシト
議院立法ハ其意ヲ行サル可ク候私共一

50

ノ人心ヲ推察仕候ニ紙幣新造ニ望ミ候者
之ナル間敷然ルニ紙幣新造被成候儀ハ其
策ヲ得サルモノト存候私營銀行ノ一二版
コト或ハ偽模致候モノモ之アルベシ今日
國立銀行ノ紙幣ハ同ク人民ノ辨知イタシ
候モノニ真偽ヲ誤リ候モノ決シテ之アル
マシク存候

今新紙幣發行相成候節ハ衆民周ク之ヲ辨
知致シ且二印前キニ一印アルモノヲ
トテ印ナリアルヲ認ムルニ至リ候ハ一
セシ

朝ノ...ニハ之アル間敷而シテ其辨知セサ
ルニ投シ 姦民或ハ偽版ヲ作ルモ
シトハ申シ難シ然ルトキハ亦々第三ノ御
印ヲ鈐サ、ルベカラサルノ更情ニ五テ至
リ申ス可カト存候私共二十年此更ニ詮
畢在候得ハ聊カ見聞致シ候處ヲ以テ急案
仕込ニ偽板ノ災ヲ避ケ且ツ除キ候ノ一策
ハ当今各銀行ノ銀行紙幣ヲ務メテ防護致候
ノ對之アルマシクト存候也
新紙幣ノ兄費ヲ以テ銀ノ課ル一條ヲ改メ

シテ政府ノ費用ヲ以テ製造スベキナリ今
若シ銀行ノ費ヲ以テ新紙幣ヲ造ルトキハ紙幣
偽換ノ節ハ大蔵省ニ送納スヘシト申シ付リル
ニテ埋ナシ若シ是カ為メニ収メシメル
金ヨリ作ラスシテ更ニ此稅ヲ課スルトキノ理
ニ於テ大蔵省ニ損札ヲ收メシメカタキコトナ
国立銀行ノ社ヲ始ハサル以前ニ偽札ノ世ニ奈
ズスルモノ三ノ餘裡ニ及ベリ此ノ札ノ掃除
テ後チ銀ノ紙幣ノ發行起レリ而シテ前十年ノ

間ニ合衆九州ノ銀行三十七種ノ紙幣摹造セ
 レタリ其種ノ版数ノ内又々四十三
 種ノ板板摹造セラレタリ蓋シ模造ノ災ヲ防ノ
 ハ新紙幣ヲ發行スルニ非スシテ旧紙幣ヲ防
 スルニ在ルナリ銀行組合ヲ督ス近來ニ至リテ
 模造ノ災蔓延セスシテ大ニ衰ユタリト云フ
 フ聞ケテ
 高ニシテ且ツ施スベキ法方ハ摹造シ得ベキ真
 紙幣ヲ通用幣ヨリ引キ去ルナリニドル紙幣
 ノ偽ハ十座ノ銀行ニ見タリ而シテ此銀行ニ

許セル真紙幣ノ發行全高ハ唯六萬トルナリ
 二十トル紙幣ノ偽ハ十一座ノ国立銀行ニ見ユ
 たり而シテ此銀行ニ許セル發行全高ハ八十万
 ドルナリ今若シ通幣ノ税ヨリ一分ヲ引キ去リ
 引換ノ節大藏省ニ來ルトキ五厘ノ打歩ヲ與フ
 ベシト云ハ、真紙幣ノ多クハ大藏省ニ戻ルベ
 シ然ルトキハ其餘ニ殘レル偽紙幣ハ世ニ通用
 スルヲ嫌ハルベキナリ其後再び同様紙幣ヲ
 一銀行ニ割一スナリシテ模造シガタキ者
 ヲ送ルベシ僕固ク信ス現今紙幣税ヨリ一萬ト

ルヲ以テ 費ヲ供セハ流通幣ヨリ其真紙幣ヲ
引キ去ルヲ得シ其後年々一ナドルノ入金ヲ
為サハ正ニ其災ヲ避クベキナリ

探索

去ル恐慌ノ時ニ当テ成ル丈グ十分ニ國五銀行
ノ衰弱セルモノノ償辦シガタキモノヲ探索セン
ト欲セテ其探索官善ク其職務ニ従吏シ非テ諸
事ノ銀行ノ事情ヲ速ニ報知セラレント實ニ大
慶ナリ斯ク取日ヲ費サズシテ國五銀行ノ取扱
ヲ誤リ入高ヲ減セシト見出シ得ルハ實

ニ思ハサルトナリ國立銀行ノ取締役其義務ヲ
忽ニシ生利ノ利益ヲ計ラサルヲ容見セルハ一
軌ニ成シ得ベキニ非高盛ノ支務ヲ取り行ヘレ
ル銀行ノ全ク探索ヲ為シ加之時日ヲ費シ
ルト之レ豈ニ尋常ノ勉勵ヲ以テ成シ得ベケン
ヤ○若シ報告ノ真ヲ過マルヲ容見セハ宜シク
一手段ヲ設ケテ探索ノ費用ヲ償ハシムベシ然
レモ老實ニシテ善ク其職ヲ守ルヲ容見セハ之
為ニ当意ニ備エ置キタル本金ヨリ探索ノ費
ヲ償フベシ

改正

一、議院會議ノ節、謹テ記載セル所ノ願、
 以テ管理役ニ托シ、置ケリ、昏中改正ヲ請フ者ハ
 第一、國立銀行ノ合一ノ一、
 第二、跡引受人ノ職ヲ
 第三、現今條例ノ通り資本ノ三分一
 ノト、ヲ用ヒズシテ一萬トルノ公債証昏ヲ政
 府ニ收メ、銀行紙幣ヲ發行セサル、
 國立銀行ヲ結
 止セシムベキ、
 第四、ヨロシキヤ地方ニ於テ、
 金銀行ノ結社ノ一ヲ備エヌル、
 千八百七十年六月
 十七日ノ條例ヲ廢棄スベキ、
 第五、官許セサ

54

一、紙幣發行ヲ禁スベキ、
 第六、私官銀行諸商
 社諸商人何レモ、
 國立銀行ニ非サル、
 商社ニ於テ
 其資本ノ一割餘ヲ付托スルヲ禁スル、
 第七、凡
 ソ偽造セル紙幣ニハ、
 偽異若クハ不正ノ語ヲ押
 印フ、
 其他茲ニ勸促イタスベキモノハ、
 政府
 証券ナリ、
 先ニ借用ト譯スル
 之ヲ以テ、
 國立銀行
 ノ準備金ヲ欽メシメ、
 且ツ手許有リ、
 高ヲ増加シ、
 シムル、
 一行ノ法令ヲ望ムヤリ、
 蓋シ此數事至重
 以テ、
 法令ヲ下シ、
 賜ハン、
 一、
 評議ノ一決セサラン

當寮

去ル恐慌ノ尚當寮実ニ非常ノ勉勵ヲ致セリ而シテ僅カニ此義務ヲ仕遂ゲ得タルモノハ全ク當寮出仕ノ人僕カ為ニ力ヲ尽シタルニ因レテリ寮ニ聞ク大蔵省ノ他寮ニ於テ此程給外ノ賞アリ此賞ヤ実ニ人ヲシテ奮勵其職ニ任セリルモノナリ一派ノ分局アルモノ必ス之ナカルベカラス當寮出仕ノ人此度ノ度ニ於ケルヤ切勞他局ノ人ニ讓ラズ報告ヲ書シ各翰ヲ作り大量

分

ノ金銀ヲ計算シ加フルニ時日ヲ費ヤサズ是レ豈ニ賞更ナカルベケンヤ故ニ僕敢テ請ノ當寮若切人ナナルモノニハ褒賞アラントテ此レ則チ人ヲシテ公事ニ勉勵シ敢テ倦マサラシムルノ法ニシテ大統領以下ノ旨趣ニ負カサラシムルノ氣慨ヲ生ズベキノナリ

當寮各籍正ニ欠乏ヲ告ク願クハ年々相当ノ金ヲ付與ナサレ大蔵省ノ支務ニ関涉セル各類則チ經濟銀行商業等ノ各ヲ買ヒ承メントテ望ム

附表

大蔵省

次ニ記スル所ノ附表ニ於テ前十一年間國立銀行ノ營ミタル資金負金ヲ熟覽シテランニ望ムナリ其記スル所ハ諸國立銀行當時ノ景況ト先月^九月十二日各所ノ銀行ヨリノ書キ上ケテ示シ其準備金ノ高ヲ示シテ千八百六十八年ヨリ七十三^三年ニ至ルノ際二十七期限ニ於テ交換府國立銀行ノ通幣及ヒ附托品ト準備金ノ割合ヲ示シテ千八百六十九年三月一日ヨリ千八百七十三年九月一^四再迄ノ間ニ半年毎ニ州縣及ヒ村舎國立銀行ノ分配高及ビ利子ヲ示シテ亦々千八百六十

56

九年三月一日ヨリ七十九年九月一日マテノ間州縣及ヒ交換府ニ於テ資本ト分配高ノ割合資本及ヒ餘分本金ト分配高ノ割合及ヒ資本及ヒ餘分本金ト利子ノ割合ヲ示シ償辦シカドモ銀行ノ道意ニ分産セル銀行ノ表及ヒ通幣抵当ノ為ニ大藏省役人ニ預メタル以債證券ノ高ヲ示セリ其他去ル恐慌十月十三日即チニウヨク府銀行ニ於テ最モ小量ナル金高ヲ所持セル時ニ於テ編輯セル州縣村落銀行ノ表及ヒ再ニ改復セル時則チ十一月一日ノ表ヲ附セリ且ツ九

大藏省

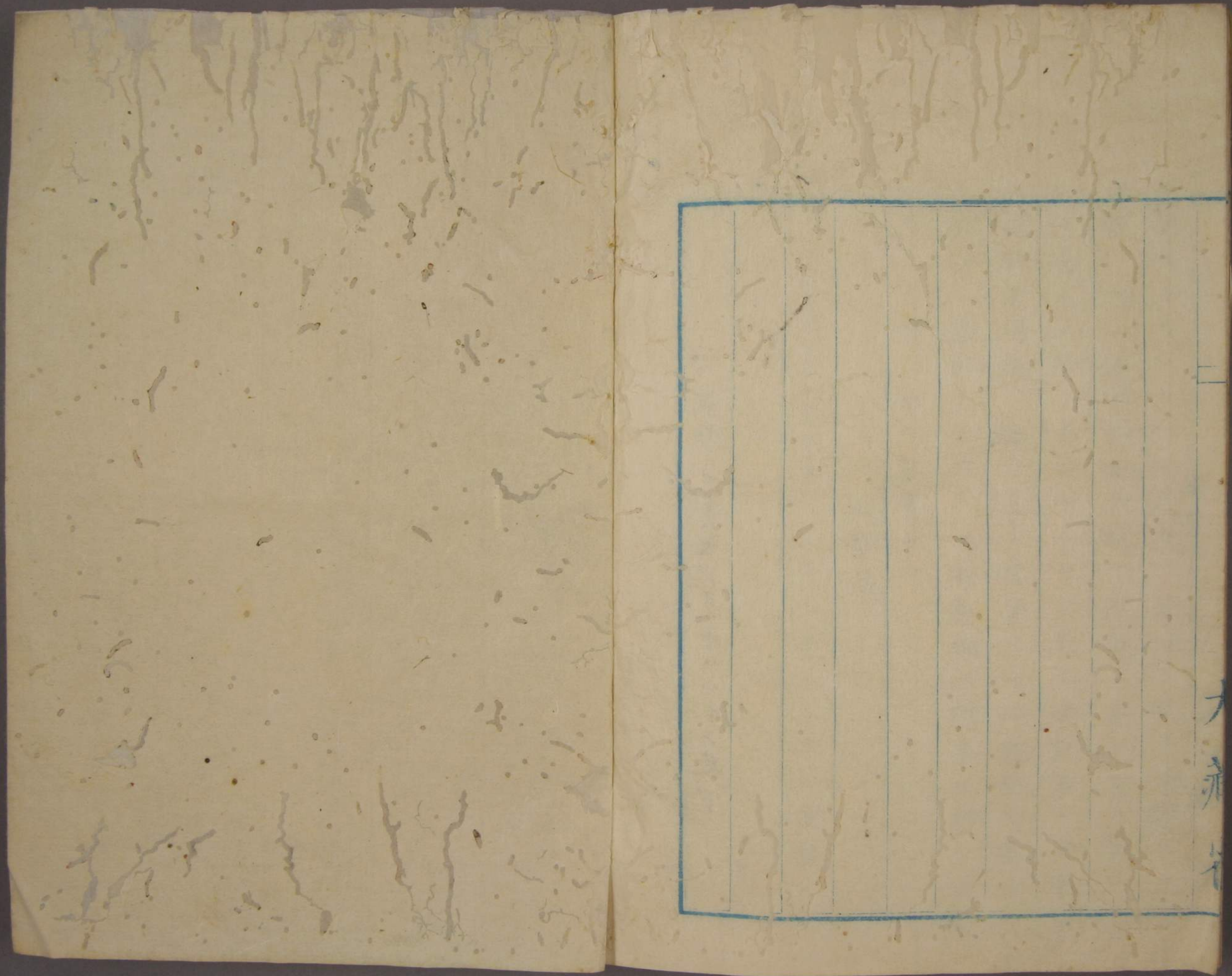
月二十日ニウヨルク府ノ會社ニ於テ所持セル
貸シ附ケ通幣附托品及ヒ紙幣ノ平分高ヲ懸ハ
ス表及ヒ十一月二十二日ニ於テ合計及ヒ全衆
國邦内州縣ノ法ヲ以テ營業セル州縣銀行蓄金
銀行ノ景況ヲ示スナリ其委細ハ附表ニ於テ詳
カナリ請フ幸ニ熟覽セヨ

紙幣頭

千九百十三年十月十八日 シヨンセイノツク謹誌

代議院ノ辨官

ホンセームスジョルチブレイン足下



大
乘
行

